



---

好きな曲：「左手の為のシャコンヌ」

J.S. バッハ作曲／ブラームス編曲

原曲は、J.S. バッハの無伴奏ヴァイオリンの為のパーティータ第2番の終曲《シャコンヌ》。低音に置かれた主題に基づく変奏曲で、バッハの器楽曲における最高傑作に数えられている名曲。ブラームスは、《シャコンヌ》のほとんど全ての音を1オクターブ下に移して、あえて左手の為のピアノ曲に編曲しました。この楽曲に最初に出会ったのは19歳の時。それ以来ずっと弾き続けている私にとって、「左手の為のシャコンヌ」はthe Bible（聖書）です。

---

### プロフィール

国立音楽大学ピアノ科を首席卒業、及び同大学院修士課程を修了。岡田賞、武岡賞を受賞。読売新人演奏会に出演。99年に渡英。リーズ市立音楽大学大学院上級ピアノ演奏家コースを最優秀の成績で修了。数々のリサイタルをはじめ、ルーマニア国立トウルグ・ムレシュ交響楽団、ロンドン・シューベルト室内管弦楽団、リーズ交響楽団等と協演。現在、宮崎学園高等学校音楽コース教諭。

---